

平成20年1月18日発行
第12号

しおしんだより

あなたの身近なパートナー

塩沢信用組合

新たな十二支のスタート

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年が皆様にとりまして最良の年となりますよう心から祈念申し上げます。

平成19年7月16日、午前10時13分、「中越沖地震」は発生しました。柏崎市を中心に局地的に大きな被害があり、史上初めて原発直下での巨大地震発生という事態に至り、風評被害がさらに拡大する事となりました。

地震から半年が経過しましたが、いまだ3千名余の被災者が仮設住宅でお過ごし由、衷心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

昨年日本経済は、一昨年と同様に年間を通して緩やかな景気回復が続きました。その間、日本銀行では金利政策を転換してから2度目にあたる金利引上げを19年2月に実施、政策金利を0.5%としております。その後は円高、原油高、アメリカのサブプライム問題などから、内外の景気動向に停滞感もみられ、利上げは行われておりません。

平成20年の景気予測では、各シンクタンクの発表によりますと、実質GDPでは、前年比2.0%前後の予想となっているようです。しかし、年末から年始にかけて、サブプライム問題と関連してアメリカの景気減速が伝えられ、影響は避けられないとの見方から、日本の経済成長率は鈍化する方向で見直されるものと思われます。

さて、今年の干支は十二支が一巡して、先頭の子年(戊子)がめぐってきました。何事も一番とか、先頭に行くのは縁起もよく気分も明るくなるものです。

干支のねずみにあやかり、こつこつとまめに、堅実に今年を過ごしましょう。

皆様とご家族様のご健康とご多幸を心からお祈りしてご挨拶いたします。

平成20年1月

理事長 川村 隆



～本店～



新年あけましておめでとうございます

平成20年の新しい年に当たり、皆様には健やかに新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

本年の干支は戊子にあたり「子」は十二支の始めの年であり、物事が繁栄することを示しているそうです。新たな成長発展に繋がる年ではないでしょうか？

さて、景気は米国のサブプライム問題や原油高騰により依然として厳しい状況にありますが、新しい年を迎え、組合員、取引先の皆様が一日も早く景気回復を実感できます様、本店では今後も間柄重視の地域密着型金融を実践し、皆様方一人ひとりの顔の見える、きめ細かな営業活動に取組み、地域の皆様が元気を取り戻していただける様、本店職員一同、心を一つにして取り組んでいきます。

何なりと気軽に声を掛けていただければ幸いです。

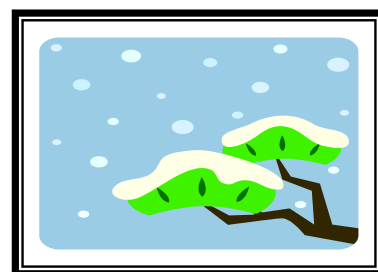
本年が皆様にとりまして、よき年になることを祈念し、新年の御挨拶といたします。



本 店
支店長 小林 勝巳

～石打支店～

謹賀新年



平成20年、新たな年明けとなりました。

経済は緩やかな回復といわれておりますが、私ども石打支店においては一大産業であるスキー観光が低迷しております。少子化、あるいは地震、豪雪、小雪等の自然災害の影響もあり、当地におけるスキー客入り込み人数が年々減少しております。

南魚沼市では、平成16年度129万人、平成17年度130万人、そして平成18年度は98万人と100万人を割り込みました。湯沢町では平成16年度383万人、平成17年度317万人、平成18年度292万人とやはり減少しております。

今シーズンはといいますと、初雪が11月中旬にあり、順調なスタートを切れるかと思いましたが、その後年末まで降雪はなく、ようやく新年に間に合った状態でした。しかし積雪量はいまだ不足している状態であり、十分な降雪があることを心より祈っております。

スキー関連事業が生き残るため、私どもは視点を変えた中でお手伝いをさせていただき、「塩沢信用組合のおかげ」と言っていたらよい、提案をしていきたいと考えております。

スキー関連以外の事業所におかれましては、取引先の業績を向上させる金融機関を目指し、又個人

取引先様におかれましては、資産形成のお手伝いができる石打支店を目指しております。

本年も引き続き「塩沢信用組合 石打支店」をよきパートナーとして、末永いお取引をお願い申し上げます。

平成20年、皆様方の最良の年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

石 打 支 店
支店長 見留 由紀雄



～五日町支店～

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方におかれましては、新しい年を迎えられ益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より五日町支店をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

昨年の経済状況につきましては、景気回復は全体としては順調に推移したということではありますが、業種、規模、地域間で格差が大きく、当地域の経済については依然厳しい状況にあったと感じております。

新しい年を迎え、地元事業者及び地元の方々が元気を取り戻し、景気回復、拡大を実感できるような状況が一日も早く訪れることを願っております。

このような状況のなか、私ども塩沢信用組合といたしましても、今後とも間柄重視の地域密着型金融機関として地域の活性化、また組合員の皆様の利益を第一に考え、少しでもお役に立てるよう、お客様のニーズに合ったきめ細かい対応にて期待にお応えしていきたいと考えております。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



五 日 町 支 店
支店長 上村 一也

～津南支店～

新年のご挨拶

新年あけまして、おめでとうございます。昨年は津南支店25周年の年という事で、その記念イベントにおきましては、信栄会の役員様をはじめ、総代の皆様、信栄会員の皆様、そしてお取引先の皆様、多大なるご協力とご支援を賜り、改めまして厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

さて新年をむかえまして一言ご挨拶申し上げます。昨年一年間の県内経済の概況は、緩やかに回復しているものの業種全体では横ばいで推移しております。住宅・公共工事に於いては、減少が続いており建築確認審査の厳格化の影響もあって、公共工事請負金額は前年割れの状態が続いております。このような状況のもと津南支店におきましては、この津南町の自立へのご支援と、事業者、個人、組合員の方々への資産形成のお手伝いや、円滑な資金の提供を行ない、地域の皆様が「元気」になって頂ける様、職員一同取組んでまいります。微力ではございますが、どんな事でも一生懸命考え取組みます。何なりとお声をお掛け下さいませ。

最後に皆様方の益々のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げます。



津南支店
支店長 高橋 真二

～小出郷支店～

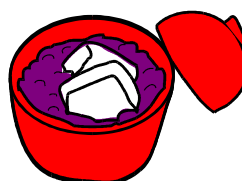
新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。おかげさまで、昨年12月13日、小出郷支店は15周年を迎えることができました。日頃、ご支援ご協力を頂いております組合員の皆様、取引先の皆様、誠にありがとうございます。

さて、新年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。昨年は異常小雪に始まり、7月には中越沖地震が発生し皆様も何かと御苦労されたかと存じます。2001年後半から長期景気浮上が続いていると言われていますが、実感としては中々感じられないのが実態でした。

小出郷支店は当組合の中で一番新しい店舗ですが、皆様のご支援ご協力により、着実に前進しております。今後も地域の皆様のお役に立つ仕事をするを基本に地域社会の発展に貢献できるよう、微力ではありますが職員一同取組んでまいりますので本年も変わらずご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご繁栄を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



小出郷支店
支店長 高橋 清隆